

令和元年度(平成 31 年度) 千種区障害者自立支援連絡協議会事業報告

1. 協議会の運営方法について

(1) 8月を除く月1回の定例会(基本第2水曜)と、毎月の運営会議(基本第3火曜)を開催した。障がい福祉フェスタ2019(以下福祉フェスタ)開催準備のため、臨時の運営会議を10月に開催している。新型コロナウイルス感染予防のため、令和2年3月定例会、運営会議は中止とした。

(2) 定例会は専門部会を中心にすすめ、全体で共通する検討事項も専門部会で協議し、全体に共有した。

全体会としては、構成員向けに差別解消の研修会を開催した。

研修会：

令和元年5月8日(水) 総会第二部で実施。参加者：65名

テーマ「障害者差別解消法と名古屋市障害者差別相談センターについて」

講師 名古屋市障害者差別相談センター センター長 吉川 琢夫氏

評価等：「名古屋市障害のある人もない人も共に生きるための障害者差別解消推進条例」

施行に関連した研修会として開催。改めて差別と合理的配慮について確認し、具体的な事例を通して理解する機会となった。

(3) 運営会議では、定例会の議題や方向性の検討と確認、各部会の進捗状況の確認を行った。福祉フェスタの実行委員会も兼ねて開催し、プログラム構成の検討から、各コーナーの進捗状況の確認、とりまとめも行った。

2. 部会の運営について

『語り場』『子ども部会』『就労部会』『地域生活部会』『相談支援部会』『販売促進部会』の6部会に分かれて開催した。

【語り場】部会長：宇野(緑風) 副部会長：桑野(サポートセンターbeing若水)

副部会長：阿比留(杉田病院GHつばみ)

事例検討を中心に開催し、計画相談や生活介護、GHより事例提供を受け、野中式の事例検討を行った。事例検討で挙げた支援方法などを実行しての振り返りや経過を聞く機会を持つことを検討したが、新型コロナウイルス感染予防のため、開催ができなかった。

福祉フェスタでは総合相談コーナーブースを設置、10件の相談があった。

【子ども部会】部会長：大澤(さわらび園) 副部会長：川口(東部地域療育センターぼけっと)

副部会長：和田(放課後等デイサービス元気)

- ① 昨年度に引き続き、構成員の事業所等での立場によって所属を分け、3グループに分かれて、共通のテーマで話し合うことを行った。同じテーマでも、立場が違う中で話の展開が異なり、それを最後に全員の中で共有した。企画の準備、振り返りが多くなってはいたが、小グループにすることで、全員が部会の中で話す機会や聞く機会をもつ事ができた。
- ② 事業所見学会とケース検討会を兼ねた部会を、子どもプラス覚王山教室(7月)、元気今池南(12月)で開催。子どもの支援について、話し合い、深めることができた。小グループに分かれて話し合い、それぞれの視点で話し合った事で、今後の子どもの支援を考えるきっかけになることができたように思うため、次年度も続けていきたい。

- ③ 11月開催の福祉フェスタにて、ステージ発表、ロビーでの作品展示、遊びコーナーに参加した。部会の中で希望を聞いた上で、発表・展示にそれぞれ3事業所（計6事業所+運営）が参加した。当日参加に向けての子ども利用状況や、作品の管理など、細かな調整を重ねて本番を迎え、関わる家族等たくさんの方に足を運んでいただき、子どもたちの日頃の成果をみてもらう機会になり、子どもたちや関わる事業所の方々にも達成感を得られたことと感じている。
- ④ 2月に地域生活部会と合同で、中央児童相談所見学を行った。児童相談所の役割や機能を知るいい機会となった。事前に出していた質問にも答えて頂き、日頃子どもと接する機会の多い事業所とも共有していきたいと思った。
- ⑤ 京都大学国際高等教育院 大学院人間・環境学研究科 准教授田中真介氏をお招きして、「発達を学び学齢期の支援につなげる」というテーマで学習会と事例検討を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染予防のため、中止とした。

【就労部会】

(4月～12月) 部会長：篠田 (LITALICO ワークス名古屋千種) 副部会長：小出 (工房さんりん舎)

(1月～3月) 部会長：小出 (工房さんりん舎) 副部会長：黄木 (ウェルビー千種センター)

① 福祉フェスタへの参加

- ・就労・相談コーナーにて、事業種別ごとの窓口を設け、個別相談に応じた。
- ・パネル展示により、就労系事業所の紹介を行った。

② ピアサポーター交流会の実施

千種区障害者基幹相談支援センターに登録している3名のピアサポーターとの交流会を実施。精神障害者ピアサポート事業について理解を深めるとともに、当事者がとらえる医療・福祉・生活などの実態や問題点などを知る機会となった。

【地域生活部会】 部会長：山田 (生活サポートセンターベル) 副部会長：安島 (作業工房 花*花)

① 地域の社会資源を“知る”“学ぶ”ことでのスキルアップ

令和2年2月21日 中央児童相談所の見学会を開催 (子ども部会合同企画)

② 事業所・個人で抱えている事・疑問についての検討会を実施

(主な内容)

- ・事例検討 (行動障害のある方への受け入れ先・難病の方のGH・虐待(疑)の支援)
- ・居宅介護事業所の立ち上げ
- ・通院時の支援についてアンケート実施

③ 全体企画 (福祉フェスタ)

- ・視線入力体験コーナー

【相談支援部会】 進行調整：千種区障害者基幹相談支援センター

- ①毎月第3金曜日に、区内だけではなく近隣区の相談支援事業所へも参加を呼びかけて開催し、対応ケースの検討、情報交換等を行った。②6月はケアマネサロンに参加。基幹センターより障害福祉サービスの説明と、グループに分かれてケアマネと意見交換を行った。③8月はアンガーマネジメント講座を開催。11、12月は分かれてノックス葵の発達障害の方向けのプログラムに参加、利用者と一緒にボードゲームを行った。④3月は新型コロナウイルス感染防止のため、中止している。

【販売促進部会】 部会長：上田（あらくさ作業室） 補佐：諏訪（基幹相談支援センター）

① あじさいひろばでの展示・企画販売

（展示）各事業所の自主製品やパンフレットを置き区内の事業所 PR に務めた。

（販売）①毎週月～金 11:30～13:00 を目途にパン・お弁当の販売を行った。

②11/30 障がい福祉フェスタ 2019 での販売（9 事業所）

③10/15～10/18 千種イオンでの販売（5 事業所）

※例年行っているタクシー券の更新時期の販売（3 月）は、新型コロナウイルス感染予防の為、合同販売は中止とした。

② その他

（会議）・あじさいひろばの活用方法・各種販売のイベントについて、検討事項があれば定例会後に集まり随時打ち合わせを行った。

・令和 2 年 2 月 21 日（金）全体会議を開催。

今年度の活動の振返りと次年度の活動予定を確認した。

3. 啓発活動の実施について

（1）障がい福祉フェスタ 2019

令和元年 11 月 30 日（土）に映画上映会に代わる企画として障がい福祉フェスタ 2019 を開催し、会場内のスタンプラリー、製品販売、就労部会による相談コーナーとパネル展示、語り場による相談コーナー、地域生活部会による視線入力体験コーナー、子ども部会による体験コーナーと講堂ロビーでの作品展示、子ども部会とゲストによるステージ発表、事業所紹介を行った。来場者は 391 名（来場者カウント数）。

評価等：小・中学校にチラシを配布して PR したこともあり、多くの来場者で盛況だった。初めての取り組みだったため、企画の検討に時間がかかり、専門部会の開催に影響した。

（2）研修会等

構成員向けに令和元年 5 月 8 日（水）（5 月総会後）「障害者差別解消法と名古屋市障害者差別相談センターについて」を開催（上述）。

参加者：65 名

4. 事例検討の実施

各専門部会の中で事例検討を実施している。

5. 防災についての取り組み

令和 2 年 1 月 8 日（水）1 月定例会にて実施。参加者：52 名

（1）千種区の防災について

講師 千種区区役所総務課（防災担当） 浅野 祐樹主査

（2）防災体験企画[会の活動について・防災〇×クイズ・避難所体験]

講師 災害ボランティアちくさネットワーク 代表 浅野 環氏

評価等：

事業所職員だけではなく、通所の利用者也参加して、〇×クイズと避難所体験として、段ボールを使用した間仕切りと簡易ベッドの作成に取り組んだ。

6. 収支報告 ※別紙資料あり [資料 2]

障害者基幹相談支援センター予算と区政運営方針予算で運用した。